

秋田県二輪車安全運転競技大会 仙北地区Bチームが団体優勝



第19回秋田県二輪車安全運転競技大会が6月17日、秋田市の県警運転免許センターを会場に行われ、仙北市から出場した仙北地区Bチームが団体優勝、クラス別では一般Aの部で仙北市代表の高橋直哉さんが優勝を飾りました。

この競技会は、二輪車のマナー向上を目的に毎年行われ、交通ルールやマナーを確認する「法規走行」と、1本橋走行やスラローム、ブレーキングなどの「技術走行」の二種目で運転技術やマナーを競い合うものです。

一般Aで優勝した高橋さんは、8月5～6日に三重県の鈴鹿サーキット交通教育センターで行われる全国大会に秋田県代表として出場します。

角館高校 街頭犯罪抑止モデル校に指定

秋田県立角館高等学校(校長・榎木豊)が昨年に引き続き「街頭犯罪抑止モデル校」に指定され、指定書交付式が6月27日に角館高校で行われました。

交付式では、加藤仙北警察署長が、「県内では、みなさんの活躍の成果もあり、自転車盗難などの犯罪は減少してきている。ルールを守る活動を学校から地域全体に広げてもらいたい」と挨拶し指定書を交付しました。指定書を受けた生徒会長の福田将太さんは「地域の模範となるよう、がんばります」と決意を述べました。



決意を述べる生徒会長の福田さん

仙北市の子どもたちがジブリ作品「種ヶ原の夜」に!!



スタジオジブリの『もののけ姫』等の美術監督を務め、『ゲド戦記』の背景を担当している男鹿和雄監督(角高22期生)の第1回作品『種ヶ原の夜』の試写会が6月25日、わらび座小劇場で開かれました。“紙芝居映像”と銘打ったこの作品の語り手を山谷初男さんが演じ、仙北市内の小・中・高校生が樹霊や雷などの役を演じました。

試写会では、音楽を担当した「アンサンブル・プラネタ」のミニコンサートや、男鹿監督と山谷さんのトーク、子役たちのインタビューも行われ、「方言は風景の一つ」という監督の言葉とともに、方言の持つ暖かさが語られ、仙北市の地域文化の奥深さが伝わってきました。

仙北市ソフトテニス連盟発足

昨年9月の町村合併に伴い、角館町ソフトテニス連盟、田沢湖テニスクラブ、西木ソフトテニスクラブが6月16日に合併し「仙北市ソフトテニス連盟」が発足しました。連盟では、今後、仙北市の学校体育、社会体育の振興、発展のため頑張りたいと話していました。役員は次のとおりです。

- 会長.....伊藤雅英(田沢湖)
- 副会長.....藤村栄一(角館)、仙葉隆(西木)

